



2011年度の営巣地整備に関して



毎年3月末の恒例行事と化してきた屋上営巣地の整備作業は、今年も3月26・27日の2日間で予定していたのですが、今年は東日本大震災の直後の混乱の中とあって、様々な観点から中止という決断にいたりしました。当初予定していた作業は、裸地を好むコアジサシのための草むしり、カラス対策として営巣地の周囲に水系を張るといったおなじみの作業や、ここ数年成果を挙げている、貝殻散布によって営巣地をコアジサシの好む白い地面にする作業などでした。3月には作業を行えませんでした。最低限の整備作業は必要だと考え、4月29日にスタッフを中心に、営巣地で作業を行いました。人数が少なかったために、草むしりはできませんでしたが、排水口回り・通路の清掃や、カラス除け水系張り、デコイと音声用のスピーカーの設置を行いました。デコイの設置には、



デコイ作りを指導してくださっている内山春雄先生や、実際にデコイ作り・修復に関わっている方たちも営巣地に来ていただいて、手伝っていただきました。また、今年度から新たなカラス対策にも着手しています。カラスの警戒音声を流す市販のカラス撃退装置を設置したり、コアジサシの巣をカラスから直接守る、籠状のシェルターの設置などを行っています。

さて、整備作業の結果ですが、今シーズンを通してコアジサシの営巣はあったものの、カラスに卵が捕食されてしまい、巣立ちはありませんでした。一方で、コチドリ・シロチドリの巣成ちは認められています。営巣地としてコアジサシが来てくれてはいるものの、繁殖を助けるためには今後も積極的なカラス対策が必要と考えられます。



シェルター「まもる君」

カラス撃退装置はコアジサシの営巣には影響がなさそうでしたが、カラスの忌避効果に関しては成果があったかは不明です。すでに営巣を始めてしまったカラスにこのような装置が効くことはあまりなく、カラスの営巣前から撃退装置を稼働させる必要があるようです。今年は導入が遅かったことが原因と考えられるので、来年は早い段階から使用していきたいと考えています。コアジサシの巣に設置するシェルターは、形状を工夫すればカラスから身を守れる可能性が出てきました。来年度も引き続き効果を検証していく予定です。

また、カラスが営巣地周辺のビルの屋上から営巣地に侵入してきている姿が確認されているため、現在営巣地周辺のビルにもカラス除けを設置できないか検討をしている段階です。

今シーズンは草むしりや貝殻散布を行うことができませんでした。それでも雑草の多く生える下段（運河側）にコアジサシの営巣が確認でき、十分な面積が残っていると考えられました。雛たちが隠れ場に使うこともあるので、バランスを見ながら雑草の管理を行う必要があります。また、白い地面にするための貝殻散布も、次の整備作業で行う予定です。新たな問題としては、長年の使用によってデコイが古くなり傷みが目立つようになってきたことです。今後はデコイ作りのイベントの開催を目指すなどして、新しいデコイを営巣地に増やしていければと考えています。

リトルターン・プロジェクトは10周年を迎えますが、コアジサシが安心して暮らせるためのお手伝いはまだまだ続きそうです。次の春には整備作業を行いたいと思いますので、みなさまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。(M.K.)